

MSIG *Quarterly Report*

三井住友海上グループホールディングス株式会社

広報部 〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 TEL:03-3297-6480(代表) <http://www.msig.com>

2009年1月16日

2008年度第3四半期(10～12月)の三井住友海上グループのトピックスをご案内します。

1. 当社グループの中核事業会社である三井住友海上社(単体)の営業概況

*2008年10～12月、速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第3四半期は、金融危機の影響が大きく自動車保険で1.9%減収となりました。一般計でも前期比4.1%の減収となりました。

(金額単位：百万円)

種目名	第3四半期(10～12月)		年度累計(4～12月)	
	収入保険料	増収率(%)	収入保険料	増収率(%)
自動車	137,086	▲1.9	407,384	▲2.0
自賠責	29,924	▲30.1	92,917	▲27.4
火災	52,642	2.3	152,752	▲0.0
傷害	28,802	1.1	91,081	▲0.6
新種	40,724	4.9	129,303	▲2.9
貨物	16,520	▲10.8	52,813	▲2.2
船舶	5,211	16.6	24,135	5.4
一般計	310,909	▲4.1	950,384	▲4.8

2. 主なニュースリリース(2008年10～12月) カッコ内はニュースリリースの日付

(1) 業務改善計画

○ 業務改善計画の実施状況について(10月21日)

三井住友海上社は、第17回の業務改善計画実施状況の報告を金融庁に提出しました。ガバナンス、保険金支払管理態勢の強化についてなどを報告しました。その他、契約者保護、契約者利便、法令等遵守態勢の強化について報告しました。

(2) 国内損保事業

○ 業界初の電子会議システムを全国展開します(1 1 月 1 0 日)

三井住友海上社は、最適で生産性・効率が高く創造性を発揮できるオフィス環境を実現するために、ペーパーレス会議やパソコンを活用した遠隔地間の会議(W E B 会議) を可能とする電子会議システムを導入しました。本会議システムは、2 0 0 9 年 1 月末から国内すべての店舗にて本格稼働します。同社では、社員の働きやすさと環境にも配慮した各種施策に積極的に取り組み、更なるお客さまサービスの向上を目指していきます。

○ 新しい学習支援システム「MSカレッジ」を開発(1 2 月 1 7 日)

三井住友海上社は、同社および三井住友海上きらめき生命社に所属する全ての保険募集人(約 1 0 0 万人) の業務知識等のレベルアップ策として、エクストラネット上に従来の Web 型 e ラーニングに加え、各種研修 資格取得 更新管理を行う次世代型の新学習支援システム「MSカレッジ」を新設し、1 2 月より本格稼働させました。

(3) 海外事業

○ カタール国における日系損害保険会社初の拠点設立について(1 2 月 2 2 日)

三井住友海上社の欧州現地法人、三井住友海上ヨーロッパ社は、1 2 月 1 7 日付でカタール国・首都ドーハ市に、日系の損害保険会社として初めてとなる支店設立の認可を取得しました。三井住友海上社は、アラブ首長国連邦(ドバイ、アブダビ) ならびにサウジアラビア(アルコバール) に事務所を有していますが、カタール支店の開設により、成長著しい中東地域における当社グループのサービス・ネットワークが更に拡充されることになります。

(4) 生保事業

○ 「G K 生命の保険」ブランドを展開(1 0 月 1 日)

三井住友海上きらめき生命社は、三井住友海上グループ商品ブランド「G K ~ 安心のゴールキーパーでありたい」を個人のお客さま向けの主力商品として展開しています。従来は、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険といった三井住友海上グループで取り扱う商品ごとにブランド展開を行っていましたが、G K は、生命保険も含めた共通ブランドであると同時に業界初の取り組みです。

(5) 金融サービス、リスク関連事業

○ エコ安全ドライブ「取組推進パックCD」の提供を開始します(1 2 月 1 1 日)

三井住友海上社は、社有車のエコ安全ドライブ推進の支援ツールとして「取組推進パックCD」の提供を1 2 月 1 2 日より開始しました。エコ安全ドライブは、燃費向上や自動車事故の削減に大きな効果があり、企業に高い関心があります。一方、具体的な取組方法がよく分からない、必要なツールが準備できないなどの理由から、十分な推進ができない企業や実践しても長続きしないという企業も少なくありません。同社では、エコ安全ドライブの推進が自動車事故防止に大きく役立つことから、本サービスを得意先企業をはじめ、ニーズを有する企業に無料にて積極的にご案内しています。

(6) 環境・社会貢献活動

○ C O P 1 0 にむけ、企業の生物多様性保全に関するシンポジウムを開催（10月2日）

三井住友海上社は、2010年に名古屋で開催されるC O P 1 0（生物多様性条約第10回締約国会議）に向けて、企業が行う生物多様性保全活動への理解を深めることを目的にシンポジウムを開催しました。同社は、生物多様性保全に関心の高い企業による「企業と生物多様性イニシアティブ（略称：J B I B）」に参加するなど活動を進めていますが、その取組みの一環として、本シンポジウムを開催しました。

○ 愛知県岡崎市・名古屋市大雨被災者への義援金について（10月7日）

当社は、被災者、被災地の支援を目的に、グループ各社の社員より、約170万円の義援金を集めました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、義援金額の同額を会社側が拠出することで総額約340万円を、愛知県岡崎市、名古屋市へそれぞれ寄贈しました。なお、三井ダイレクト社が、新たに災害時義援金マッチングギフト制度を導入し、今回の義援金寄贈より参加しています。

< 義援金の内訳 >

当社グループの社員の義援金	：	約170万円
災害時義援金マッチングギフト	：	約170万円
合計	：	約340万円

○ 三井住友海上グループホールディングス「CSRレポート2008」を発行（10月29日）

当社グループにおけるCSR（企業の社会的責任）の取組みを紹介する資料「CSRレポート2008」を発行しました。本レポートは、CSRの取組みの現状と課題、将来に向けてのビジョンなどを掲載したもので、三井住友海上社で2004年度から毎年発行していたものを、昨年4月に持株会社を設立したことに伴い、今年度から持株会社として発行しました。昨年度から取組んでいる品質向上の活動に加え、地球環境の保護や交通安全に関する諸活動についても掲載しています。

○ 2008年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団賞」決定（11月17日）

財団法人三井住友海上福祉財団は、2008年度の研究助成として40件を決定、11月20日に助成金贈呈式を開催しました。また、優れた著作・論文に対し贈呈する「三井住友海上福祉財団賞」も論文1点を決定、同日表彰しました。交通安全等部門で13件、高齢者福祉部門で27件、合計40件に総額3,830万円の助成を決定しました。助成金の総額は、財団賞および海外における研究助成も含めると、合計48件、総額4,260万円となります。

○ アジアにおけるテレビコマーシャル

アジア・フィルム・ビデオ・デジタル映像作品賞で“ブロンズ賞”を受賞（11月21日）

三井住友海上社が東南アジアを中心に放映しているテレビコマーシャルが、2008年9月11日にシンガポールで開催された「フェニックス賞（アジア・フィルム・ビデオ・デジタル映像作品賞）2008」の授賞式において、ブロンズ賞を受賞しました。同社のテレビコマーシャルの創造性や制作技術が高く評価されたものであり、日系の金融機関として初めての受賞となります。

○ 子どもの絵のチャリティーカードで旧ユーゴスラビア地域の子どもを支援（12月1日）

当社グループ社員の社会貢献団体「スマイルハートクラブ」と特定非営利活動法人「子供地球基金」は、“Kids Helping Kids”をコンセプトに、毎年、カード販売の収益金の一部で世界の紛争・被災地の子どもたちを対象にアートワークショップ（心の傷を癒す目的で絵を描く活動）を開催し、描かれた絵で翌年のカードを作成しています。今年もクロアチアとパキスタン・カシミール地方の地震被災地でクリスマスカードと絵はがきを作成しました。

○ **「国内排出量取引制度」へ国内保険会社として初めて届出をしました（１２月２４日）**

三井住友海上社は、政府の「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」（通称：「国内排出量取引制度」）への参加を国内保険会社で初めて決定しました。同社は、以前より所有ビル・設備の運営において本格的な省エネ対策を実施し、本社の新川ビルでは２００７年度に２０００年度比で約１９．３％の電力使用量削減を実現しています。今回の目標は日本損害保険協会の自主行動計画参加企業の目標をすでに達成しているため、より一層のＣＯ２削減のために「２０１２年度の本社での電力使用量を２０００年度比２２．０％削減する」というより高い目標を設定しました。これを機会に、さらに環境に配慮した企業を目指していきます。

３．スポーツ・トピックス

○ **女子柔道部**

- ・「平成２０年度 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」（１１月１５～１６日）
８名の選手が出場し、山岸絵美選手（４８kg級）中村美里選手（５２kg級）徳久瞳選手（５７kg級）上野順恵選手（６３kg級）が優勝し、全７階級のうち４階級を制しました。
- ・「嘉納治五郎杯東京国際柔道大会（２００８ワールドグランプリ）」（１２月１２～１４日）
山岸絵美選手（４８kg級）中村美里選手（５２kg級）上野順恵選手（６３kg級）が準優勝。また、徳久瞳選手（５７kg級）が３位入賞し、出場した４選手全員がメダルを獲得しました。

○ **女子陸上競技部**

- ・「東日本実業団対抗女子駅伝競走大会」（１１月３日）
１区 山下 郁代 選手、２区 高吉 理恵 選手、３区 渋谷 陽子 選手
４区 江藤 佑香子 選手、５区 大平 美樹 選手、６区 大崎 千聖 選手
２時間１５分２０秒で優勝、大会史上初の９連覇を達成しました。
- ・「第２８回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会」（１２月１４日）
１区 山下 郁代 選手、２区 高吉 理恵 選手、３区 渋谷 陽子 選手
４区 江藤 佑香子 選手、５区 大平 美樹 選手、６区 大崎 千聖 選手
２時間１４分５３秒で、準優勝しました。